

企業強みの研究

エネルギーを創り、届け、賢く使ってもらおう エネルギーを通して地域を元気にしたい！

株式会社洗陽電機



http://www.koyoelec.com

地域大手スーパーと取り組む 安心感で伸びる新電力事業

家庭向け電力小売りが全面自由化された昨年4月、大手スーパー平和堂の店頭で新電力の契約申し込み受付が始まった。提携する電力会社は神戸市に本社を置く洗陽電機。電力の検針票を店頭で持参すれば、即座に切り替え後の電気料金が算定してもらえ、電気を多く使う家庭では20%以上も割安になる場合があるという。なじみの店舗でしっかり説明を受けられる安心感があり、契約者数は増加の一途。電気料金に応じてHOPカードのポイントがたまるお得感も人気を後押ししている。



平和堂の店頭での新電力の契約申し込み受付

洗陽電機が平和堂にパートナーとして選ばれた理由。「それは、平和堂さんが長年にわたって環境保全活動などで循環型社会の実現に向けて取り組んでこられた姿勢と、『未来の子どもたちのためにより良い地球環境を残します』との当社の経営理念が共鳴したから」と乾正博社長は明かす。

洗陽電機は「未来のエネルギーの私たちを創造します」とのミッションを自

高度なエンジニアリング力が 最適な省エネを実現する

らに課している。再生可能エネルギーを創出する「エネルギークリエーション」、価値あるエネルギーの取引を行う「エネルギートレード（新電力）」、そして工場やビル、商業施設等に最適な省エネを提供しエネルギーを賢く使う「エネルギーセービング」。この3領域の事業を手掛け、シナジー効果を生み出す。「国産のエネルギーを創り、届け、賢く使ってもらおう」。エネルギーの川上から川下までを1社で提供できる企業は、数少ないと思います。

※地熱バイナリー発電/地熱の温度が低いときなど、沸点の低い媒体を加熱して、その蒸気でタービンを回し発電する方式



高いエネルギー変換効率の「バイオマス発電熱電併給ユニット」(写真提供:三洋貿易株式会社)

森林資源を使い地域を活性化 効率が高い木質バイオマス発電

再生可能エネルギー分野で、乾社長が特に力を注ぐのが、小型の木質バイオマス発電だ。燃料は未利用木材を利用した木質ペレット。「国内林業の衰退により山林が荒れ、地方の活力が失われていった。創エネと省エネの二つの事業で技術を磨いてきた私たちなら、地域の電力需要や森林資源の供給に細やかに対応できる木質バイオマス発電施設のEPC（設計・施工・建設）が可能だ。地域内でつくられたエネルギーを地域内で使うエネルギーの循環モデルを築いて、森林資源の有効活用や雇用の創出などで地域経済を元気づけられる」。



バイオマス発電の燃料になる、未利用材を利用した「木質ペレット」

こんな思いに基づいて各地に提案を進めてきた木質バイオマス発電所は、現在着工中の宮崎県串間市や岐阜県高山

市その他、全国10カ所で建設計画が進んでいる。発電設備の出力は175キロワットから2メガワットと小規模だが、発電効率は一般的なバイオマス発電所のおよそ22%に対して30%。熱の利用も含めると総合エネルギー効率は最大75%にもなるという。

それを可能にしたのが、電力と排熱を供給するコージェネレーション（熱電併給）システム。採用するドイツ製発電機は電気エネルギーを効率よくつくり出すだけでなく、排熱を利用してバイオマス発電の燃料となるペレットも乾燥できる。この発電機を日本流にアレンジし、地域の資源量に合わせて設置するなど、同社の高度なエンジニアリ

ング力が随所に生かされている。さらに「地産地消」による未利用材の調達を視野に入れ、電源開発による森林資源の再生に注ぐ乾社長の思いは熱い。「国土の約7割が森林といわれる日本、地域活性化のためにも小型木質バイオマス発電を全国に広げたい」。

3事業の技術と経験を生かして 「地域内電力モデル」を創出する

法人向けや家庭向けに電力を供給する新電力事業でも、自社の持つ電源開発能力や高度なエネルギーセービング技術、需給管理技術などで高い競争力を発揮している。工場やビル、商業施設などの事業所向け、官公庁施設への電力供給を着実に伸ばすとともに、大手スーパーとの提携により家庭向け電力供給も右肩上がりだ。資源エネルギー庁による昨年9月の新電力供給実績（供給実績のある257社）ランキングでは21位

をマーク。独立系事業者としてめざましい好成績を残している。「地産地消型電力供給モデル」として、ドイツではシュタットベルケと呼ばれる地域密着型事業者がエネルギーの整備・供給を担っている。この電力モデルを日本に広めようと洗陽電機は昨年7月、千葉県の成田市と香取市が共同して設立した地域電力会社に参画した。地域でつくられたエネルギーを地域で活用する地産地消とともに、公共施設への電力供給、売電など、地域循環型社会の形成に向けてスタートを切った。「ドイツのように地域内電力の比率が増え、分散型で再生可能な電源による電力需要がさらに進めば、エネルギー資源の海外依存が減る。環境負荷も減り、地域が輝いてくるなど、より良い未来を創出できる」。その道を力強く切り拓いていきたいと、乾社長は将来を見つめる。未来の子どもたちのために。

Profile

株式会社洗陽電機

- 本社/神戸市東灘区住吉宮町3-7-14
- 設立/1996年
- 資本金/3億6,725万円
- 従業員数/153名
- 事業内容/エネルギークリエーション事業、エネルギートレード事業、エネルギーセービング(省エネサービス)事業



代表取締役社長 乾 正博氏

Voice

地域再生の有効手法である木質バイオマス発電を、豊富な森林資源がありながら整備途上の滋賀県で取り組みたいと考えます。持続可能で元氣な地域づくりを、私たちと共に進めていきたいと思います。

※バイオマス発電/動植物から作り出される有機性の資源を直接、あるいはガス化して燃焼して発電するしくみ